



本市と飯山市で初開催の環境スポーツイベント「千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT 2017」が開催されました。環境シンポジウムが行われた1日目は、豊田文化センターでカメライストの野田知佑さんが講演。雨天となった2日目は、カヤック・自転車・登山で飯山市の中央橋から高社山の山頂を目指しました。ゴール後には、シャインマスカットなどの地元の特産物が振る舞われ、参加者は北信州の自然と食を堪能していました。

10/21-22 千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT

INTERVIEW



シングルの部優勝
はいたつるぎ
灰谷剣さん

滋賀県から来ました。千曲川からの景色がきれいだったので、晴れた日にまた来たいと思いました。



10/20 小学生が認知症サポーターに! 認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る応援者「認知症サポーター」。高丘小学校の児童が受けた講座では、講師が認知症の方を演じ「おじいちゃんと同じことを繰り返し聞きます。あなたは、どんな声掛けをしますか」と質問。児童は、答えを劇の中で再現しました。

講座終了後、認知症サポーターの目印「オレンジリング」が配布され、児童たちが認知症サポーターに仲間入りしました。



10/14-15 おごっそとイベント盛りだくさん 信州中野おごっそフェア

方言でごちそうを意味する「おごっそ」。「信州中野おごっそフェア2017」では、参加店が工夫を凝らした自慢のおごっそを販売。

中野市食の大使の杉浦太陽さんによるトークイベントやコンサートなども行われ、会場は大勢の人でにぎわっていました。また、ステージイベントのご当地グルメ料理対決では、ぼたんこしょうやキノコ、ブドウを使った6品の料理が登場。5人の審査員の舌をうならせていました。



動画でイベント紹介



10/21 トリックオアトリート!
ドキドキハロウィン

ハロウィンメイクのボランティアで初めて参加しました。子どもたちがとても喜んでくれてうれしかったです。

たなかりりか
田中梨々花さん



魔女やお化けなどのさまざまな仮装をした参加者が、市街地をにぎやかな雰囲気に包んだ「ドキドキハロウィン2017」。当日は、ミニパレードや商店街のお店を回ってお菓子をもらうトリックオアトリートのほか、仮装コンテストなどの企画が行われました。

中野陣屋前広場公園では、高校生などのボランティアが子どもたちの手の甲や顔にカボチャやコウモリなどのハロウィンメイクをして、仮装を彩っていました。



10/4 首都圏で中野市をPR
信州なかのフェアin横浜

本市の魅力ある農畜産物や加工品、歴史、文化、風土を紹介する産地・観光PR事業「信州なかのフェアin横浜」。当日は、約2,300人が会場の横浜産貿ホールを訪れました。

このイベントは、市内の事業者が首都圏の消費者に商品を直接紹介できる機会でもあり、来場者と会話を楽しんでいる出店者の姿も見えました。

また、杉浦太陽さんによる料理実演なども行われ、会場内は活気に溢れていました。



10/7 秋を歩いて満喫
信州なかの巡りEYEウォーク

秋の中野市の味覚や文化、自然を楽しむウォーキングイベント「信州なかの巡りEYEウォーク」を開催しました。当日は、89人の皆さんが参加し、4つのコースに分かれて市内を巡りました。

中野立志館高校の生徒が案内人を務めたコースでは、エノキタケの収穫体験で採れたての生のキノコを味見したり、中野市生まれのリンゴ「秋映」を収穫したり、参加された皆さんは食の秋を楽しんでいました。